

インターバンクの声（2016 年 11 月 11 日）

米大統領選前の為替市場では、トランプ候補が当選した場合のドル円の行方についても様々な予想が論じられていたが、もっぱら当選が決まった直後は 100 円前後までドル売りが進み、少し時間を置いた後は当選が決まる前の水準に戻っていくようなシナリオが中心だった。中には一気に 98 円や 95 円水準まで下げるとの見方もあったが、結果的にはトランプ候補の当選が現実味を帯び始めてきた日本時間 10 日の午後に付けた 101 円台前半がここまでのドル最安値だ。初動のドル安方向への動きはほぼ予想通りだったが、その後これほど直ぐにドルが反発するとは多くの人が思っていなかったはずだ。

当選確実となった後の支持者に向けたトランプ候補の勝利宣言スピーチが、選挙期間中に繰り返してきた奔放で過激な内容から激変する礼節をわきまえた内容だったことで、世の中の雰囲気は懸念から期待に変わったためだろう。それだけトランプ候補が当選することへの懸念や不安が大きかったために反発も大きくなったのだろうが、問題は 107 円近くまでドルが上昇したこの後の展開だ。このドル買いがまだ続くとする見方と、上げ幅が大きくなり過ぎた分だけドル売りの反動も大幅になるとの見方に割れている。さすがにまともな次期大統領を演じ始めたトランプ氏がいきなり元に戻ることはないだろうが、どこかでボロを出して再び世の中が失望すると思えてならない。勿論ストップは置くが 107 円台は売ってみたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。